

20230329 2022 年度第 2 回理事会開催報告

1. 第 2 回理事会・評議委員会（集会・リモート併用）実施経緯

2020 年 2 月中下旬から日本においても新型コロナウイルス（SARS2-COVID19）の感染が拡大に対する抑止対策が講じられてきた。2022 年度末には、5 月 8 日から感染法上の分類を季節性インフルエンザと同じ 5 類に引き下げる政府方針が示された。この 2 年間、SGEC の会合も抑止対策として当初は書面審議方式（全員の合意による決議）で実施し、2020 年度後半からは集会・リモート併用方式（多数決による決議）に変更し、今回も同方式で実施した。

2. 理事会実施概要

SGEC は 2023 年 3 月 24 日に、千代田区永田町ビル 4 階の日本治山治水協会大会議室にて、2022 年度第 2 回理事会（会場・リモート集会併用：理事会と評議委員会を同日開催）を開催した。議長は、前田直登 SGEC 副会長（日本林業協会）で、議題 1 2022 年度事業報告及び収支予算案（案）議題 2 PEFC メンバー国会費の計算方式の変更 議案 3 2023 年通常総会の日程及び議案 について審議決定した。報告事項として 1 役員の職務執行状況報告及び事業実施概要、2.SGEC ガイド文書 4-1 の策定 3. PEFCST1004:202X の制定状況 4 東京都グリーン購入ガイドの改定の報告がなされた。理事会は事務局の説明に対し、若干の質疑意見ののち原案を了承し、決定した。

2.1 実施内容会議次第・理事名簿等

- (1) 会議次第・理事名簿は以下の配布説明資料に添付。
- (2) 出席者 理事 15 名（理事定員 20 名）（議長：前田直登：日本林業協会顧問）
事務局員 5 名

2.2 配布説明資料

別添参照：2022 年度第 2 回評議委員会・理事会資料（評議委員会理事会共通）

注 1：2022 年度 SGEC 理事監事顧問名簿、評議委員名簿に出欠表添付

注 2：今回添付した議題 1 の資料の事業計画は、会議での意見を反映し修正済みのものである。

SGEC 理事・監事・顧問名簿 2021総会・臨時理事会決定
 (2022年総会・臨時理事会選任(交代:残任期)の者を含む)

第2回理事会出欠表

役職	氏名	備考	会場	リモ Zoom	計 出欠 0
会長理事	佐々木恵彦	前(公財)国際緑化推進センター		1	1
副会長理事	前田直登	(一社)日本林業協会	1		1
副会長理事	宮林茂幸	東京農業大学			0
専務理事	梶谷辰哉	SGEC事務局長、学識経験者	1		1
理事	青山佳世	フリーアナウンサー		1	1
理事	上田浩史	日本合板工業組合連合会	1		1
理事	大木美智子	(一財)消費科学センター			0
理事	沖修司	(公社)国土緑化推進機構	1		1
理事	原田隆行	日本製紙連合会			0
理事	関本暁	(一社)日本木造住宅産業協会	1		1
理事	酒井秀夫	前東京大学大学院教授		1	1
理事	関岡哲也	(公財)森林文化協会	1		1
理事	志賀和人	前筑波大学教授	1		1
理事	中村恭士	森林労連:全日本森林林業木材関連産業労働組合連合会 委員長 学識経験者(前大日本山林会会長)	1		1
理事	田中潔		1		1
理事	津元頼光	(一社)日本治山治水協会	1		1
理事	飛山龍一	全国森林組合連合会			0
理事	廣瀬道男	(公財)オイスカ	1		1
理事	粗信仁	政策研究大学大学院	1		1
理事	安永正治	(一社)全国木材組合連合会			0
定員20人		計>>	12	3	15
			会場	リモ Zoom	計 出欠

緑の循環認証会議

2022年度 第2回理事会・評議委員会

議事次第

議案

- 第1号議案 2023年度事業計画及び収支予算(案)について
- 第2号議案 PEFC メンバー国会費の計算方式の変更について
- 第3号議案 2023年度通常総会の日程及び議案について
- 第4号議案 その他

報告事項

1. 役員の職務執行状況(2022年度事業の実施概要も含む)について
2. SGEC ガイド文書 4-1 森林および森林外樹木製品の COC および関連規格の使用ガイドの策定について
3. PEFC ST 1004:202x PEFC に承認された森林管理規格の認証業務を実行する認証機関に関する要求事項の制定状況について
4. 東京都グリーン購入ガイドの改定について

第 1 号議案 2023 年度事業計画及び収支予算案

2023 年度事業計画

(事業期間：2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日)

令和となり5年目を迎えたが、いまだ新型コロナウイルスの感染が収まっておらず、困難を抱える状況が続いている。

このような中、世界の社会経済は引き続き「環境」と「持続可能性(サステナビリティ)」をキーワードとする枠組みを指向しており、持続可能な開発目標(SDGs)の達成が、世界全体で取り組むべき最大の課題となっている。

SDGsの達成にとって森林の持続可能な経営の実現は不可欠であり、持続可能な森林経営を第三者として証明する手段である森林認証の仕組みは、SDGsの達成に大きく貢献するものである。また、投資家や消費者の間では、環境や持続性に配慮した企業活動や製品を選択するとの ESG 投資やエシカル消費の動きも広がってきており、こうした状況も踏まえ、SGEC/PEFC 認証のさらなる普及、拡大に向け取り組む必要がある。

このような中、SGEC の認証の状況については、近年、認証森林面積は増加傾向で推移し、2020 年度には 200 万 ha(人工林面積の 20%に相当)を超えるなど一定の成果がでてきており、また、COC 認証についても、最近、個別認証からマルチ認証への変更などもあり、トータルの件数では、減少しているものの新たな認証の取得も相当数見られる状況にある。しかしながら、欧米の認証状況に比較すると、まだまだ低位にとどまっており、このため、森林認証制度の認知度を高め、森林認証ビジネスの活性化や新たな認証製品のサプライチェーンの構築を進めるなど、認証の更なる推進に向け、一層の取り組みが必要である。

以上の状況に対応し、2023 年度においては、昨年4月に PEFC の相互承認を得た 2021 年版 SGEC 規格(移行期限は 2023 年 8 月 14 日)の普及、定着を図るとともに、SGEC/PEFC 認証制度の更なる発展に向け、昨年度に引き続き、次の事業を実施することとする。

また、本年は SGEC 森林認証の設立と PEFC 日本連絡事務所開設 20 周年を迎える節目の年となることから、記念行事を行うなど更なる発展に向けた契機とする。

1. SGEC/PEFC 認証拡大に向けての取り組み

(1)SDGs に貢献する SGEC/PEFC 活動の展開

森林認証及び認証事業者の事業活動は SDGs 実現に貢献し、ESG 投資先の対象となり得る点などについての理解を促進するためのフォーラム、セミナー等を開催するとともに、ロゴマーク使用の拡大等を通じSGEC/PEFC 森林認証に対する一般消費者の認知度の向上に努める。この関連で、できるだけ多くの一般消費者にSGEC/PEFC 認証とそのロゴマークを知ってもらうため、昨年度に引き続き「森林認証ロゴマーク集めコンテスト」(別紙1参照)を実施する。

また、大阪万博の準備、運営を行う「2025 年日本国際博覧会協会」に対し、施設建設や物品調達において、認証材や認証製品を利用するよう引き続き働きかけを行うとともに、地域の森林認証協議会とも連携し、認証材利用や認証取得の促進に努める。

(2) SGEC/PEFC 認証材ビジネスの活性化に向けた活動の展開

森林認証促進協議会(2018年3月設立、事務局:SGEC/PEFC ジャパン)、2021年2月にPEFC 評議会等との合意により開始した「日本マーケティングプロジェクト」(別紙2参照)の活動との密接な連携のもと、国内の関係企業・団体、関係国の認証管理団体等とも協働し、SGEC/PEFC 認証品の普及、公共施設建設における認証材使用の促進、紙・家具・住宅等の分野における、認証材利用の拡大に向けた取り組みを強化する。

消費者と密接な関係を持つブランドオーナー等への情報提供と認証製品の拡大に向けたフォーラム、地方セミナー等を開催するとともに新たな認証品のサプライチェーンの構築を目指す。

(3)認証材、認証製品の拡大に向けた自治体等との連携

2022年度に引き続きエシカル消費の推進に向けた取り組みの一環として、消費者庁との連携を進めるとともに、森林認証の取得促進のための森林環境譲与税の活用について、関係自治体に対し働きかけを行う。また、近年、公共建築物や都市部の建築の木造化の動きが活発化していることを踏まえて、これら建築物への森林認証材の利用促進について、働きかけを行う。

2. SGEC/PEFC 規格の普及と厳格な運営

(1)SGEC 改正規格の普及、定着

SGEC2021年版規格については、2021年6月1日に施行し、その後PEFCの適合性審査に伴う微修正の指摘に対応し、2022年4月にはPEFC 評議会の相互承認を受けたところである。新規格への移行期限である2023年8月14

日までに改正規格への切り替えなど審査、認証の円滑な推進に向け、PEFC GD2001:2022を踏まえ策定された SGEC ガイド文書 4-1「森林および森林外樹木製品の COC 及び関連規格の使用ガイド」も活用しつつ、日本適合性認定協会、認証機関とも連携し、説明会等を通じ認証取得者に適宜周知する機会を設け、その普及、定着に努める。

(2)SGEC 規準文書 5-1「SGEC 森林管理規格に基づく認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」の改正

PEFCにおいてPEFC ST 1004:202x「PEFCにより承認された森林管規格の認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」の改正作業が行われていることを踏まえ、同STの施行後、この内容を踏まえSGEC 規準文書5-1「SGEC 森林管理認証規格に基づく認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」の改正を検討する。

(3)信頼される認証のための体制の整備

SGEC/PEFC 認証制度は、認証管理団体(SGEC/PEFC ジャパン)、認定機関(JAB)、認証機関がそれぞれ厳正に独立し、ISO 国際規格に基づきそれぞれの役割を果たすことが、信頼される制度として存立するための重要な要件となっている。このことを十分踏まえ、認定機関、認証機関と緊密な連携のもとに、認証規格の厳正な運用を図ることとし、特に認証機関とは、常に情報交換を行うとともに審査員に対する定期的な研修会を通じ、的確な認証が行われるよう対応する。

3. SGEC/PEFC 認証業務の執行体制の充実

PEFC 本部及び PEFC 加盟国の認証管理団体等と緊密に連携し、PEFC の相互承認制度のもと、日本国内における PEFC 認証制度を管理する団体として、プロモーション活動の強化等のため業務執行体制を充実するとともに業務の実施に当たっては、「日本マーケティングプロジェクト」の活動との連携を図る。

4. 会員の拡大

多くのステークホルダーの参画のもとに SGEC/PEFC 認証制度が運営できるよう正会員の拡大に努めるとともに SGEC/PEFC 認証制度の趣旨に賛同し、財政的に支援をいただく賛助会員の拡大も併せて推進する。

5. 広報の充実

SGEC/PEFC 認証に関する情報をホームページ、SNS 等を通じ適時適切に発

信するとともに、関連団体が開催する各種の会議やフェア等に積極的に出席・参画し、SGEC/PEFC 認証制度の普及・啓発に努める。

[別紙 1]

森林認証ロゴマーク集めコンテスト

SGEC/PEFC ジャパン・森林認証促進協議会

目的

世界と日本の森林を守り、持続可能な社会の実現に大きく貢献する森林認証の重要性を多くの人々に知ってもらい、認証製品の消費拡大を通じた消費行動の変革を目指す

方法

環境月間の取り組みの一つと位置づけ 6 月 1 日から 1 ヶ月間を募集期間とし、ツイッターを活用し、PEFC と SGEC のロゴマーク(ロゴライセンス番号入り)の付いた様々な商品の画像を実際に撮って投稿してもらい、抽選により商品を授与するとともに、コンテストに先だって SNS を活用した認知度調査を行う。

[別紙 2]

SGEC / PEFC 日本マーケティングプロジェクト

本プロジェクトは、COC 認証の拡大、森林認証に対する認識の向上を図り、日本市場のサプライチェーンにおける SGEC/PEFC 認証材料・製品のシェアの拡大を目指し、PEFC 評議会及びオーストラリア・Responsible Wood との合意に基づき実施

期間：3 年間、2021 年 2 月開始

目的：

1. SGEC/PEFC 認証材料の日本市場における受け入れの増加
2. SGEC/PEFC 認証材料・製品の利用拡大
3. SGEC/PEFC 認証の重要性についての認識の向上

2023年度 収支予算（2023年3月時点）（案）

（2023年 4月 1日から2024年 3月31日）

（単位：円）

科 目	予算額（案）	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 会費収入	2,300,000	2,300,000	0
・正会員会費収入	900,000	900,000	0
・賛助会員会費収入	1,400,000	1,400,000	0
(2) 公示料収入	59,300,000	55,000,000	4,300,000
・F M 公示料	4,000,000	3,000,000	1,000,000
・CoC 公示料	55,300,000	52,000,000	3,300,000
(3) 助成金収入	0	350,000	△ 350,000
・助成金収入	0	350,000	△ 350,000
(5) 雑収入	12,302,000	12,302,000	0
・利息収入	2,000	2,000	0
・J M P 収入	12,000,000	12,000,000	0
・雑収入	300,000	300,000	0
事業活動収入計	73,902,000	69,952,000	3,950,000
2. 事業活動支出			
(1) 事業費	62,300,000	58,300,000	4,000,000
・臨時雇用経費	1,000,000	1,000,000	0
・報酬給与生費	18,000,000	18,000,000	0
・福利厚生費	3,000,000	3,000,000	0
・会議費	600,000	600,000	0
・旅費交通費	1,000,000	1,000,000	0
・普及啓発費	10,000,000	10,000,000	0
・本部負担金	5,000,000	4,000,000	1,000,000
・本部開発費	13,000,000	12,000,000	1,000,000
・事業推進費	200,000	200,000	0
・業務委託費	3,000,000	3,000,000	0
・会議室使用料	2,000,000	1,000,000	1,000,000
・公租公課	5,000,000	4,000,000	1,000,000
・事業雑費	500,000	500,000	0
(2) 管理費	16,570,000	16,470,000	100,000
・報酬給与生費	8,000,000	8,000,000	0
・福利厚生費	1,000,000	1,000,000	0
・旅費交通費	1,000,000	1,000,000	0
・通信運搬費	600,000	500,000	100,000
・備品・消耗品	2,000,000	2,000,000	0
・借室料	3,500,000	3,500,000	0
・交際費	20,000	20,000	0
・会費分担金	150,000	150,000	0
・雑費	300,000	300,000	0
事業活動支出計	78,870,000	74,770,000	4,100,000
事業活動収支差額	△ 4,968,000	△ 4,818,000	△ 150,000
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	299,651	554,108	△ 254,457
当期収支差額	△ 5,267,651	△ 5,372,108	104,457
前期繰越収支差額	5,267,651	5,372,108	△ 104,457
次期繰越収支差額	0	0	0

2023 年度短期借入金限度額及び会費納入について

1. 2023 年度短期借入金の限度額は 500 万円とする
2. 2023 年度の会費は、2023 年末までに1/2を、また、残額を2024 年3月までに納入することとする。但し、特別な事情がある場合には、本会議と打ち合わせの上、時期を定めて納入することが出来る

役員職務執行状況

(2022年6月15日—2023年3月24日)

佐々木 会長

緑の循環認証会議の活動全般を統括

梶谷 専務理事・事務局長

会長を補佐し、以下の緑の循環認証会議の活動を実施

2022年度事業の概要

コロナウィルスの感染が中々収まらない中、基本的にはオンラインを中心とした活動を行わざるを得ない状況下ではあったが、感染状況を踏まえ現地に赴く対応も可能な限り行った。

1. 会議

総会	2022年6月28日	対面方式及び書面による議決権の行使 (2021年度決算等)
理事会/評議委員会	2022年6月14日	オンラインと対面の併用 (2021年度決算等)
	2023年3月24日	オンラインと対面の併用 (2023年度予算等)

2. 規格改正関連

- ・SGEC2021年版規格への円滑な移行に向けた説明会(2022.7.13)等の実施
- ・PEFC GD 2001:2020 いわゆるCOC使用ガイドの公表をうけ、SGECガイド文書5-1「森林および森林外樹木産品及び関連規格の使用ガイド」を策定、HP上に掲載
- ・PEFC ST 1004:202x 「PEFCにより承認された森林管規格の認証業務を実行する証機関に関する要求事項」のパブコメにおいて意見の提出。認定機関、認証機関に連絡等

- ・2022.6.15 第2回ブランドみらいミニセミナー [SDGs x 脱プラ]
- ・2022.8.24 第3回ブランドみらいミニセミナー [SDG x 環境マーク]
- ・2022.12.7 第4回ブランドみらいミニセミナー[SDGs x 認証材はどうなる]

(4)森林認証国際フォーラムの開催 (2022年10月25日)[別紙3]

(5)森林認証ロゴ集めコンテスト」の実施 (2022.6.10～6.30)[別紙4]

(6)「We Love Forest 少花粉スギ植樹祭」の実施(於:あきる野市のSGEC認証林内)(2022年10月15日)[別紙5]

6. 森林認証促進協議会の開催 (2022年10月5日、2023年3月10日)

7. PEFC 総会(2022年11月14～18日)オンライン開催

主な事項

- PEFC 今後5年間の活動戦略に関する意見交換
- 2024年からの会費の新計算方式の提案等、
- 2023年メンバーズ会議のカナダ・バンクバー開催の決定報告等

[別紙1]

SGEC 森林認証面積及び COC 事業体数の推移

年度	FM 認証 登録事業体数	FM 認証 森林面積 (ha)	COC 登録事業体数	COC 企業数	備考
2010		864,351.26		408	
2011		887,932.59		379	
2012		968,168.28		381	
2013		1,248,231.16		376	
2014		1,254,642.03		343	
2015		1,470,501.08		364	
2016		1,611,326.04		612	
2017		1,665,763.85		808	
2018		1,919,826.43		864	
2019	139	2,153,573.39	544	892	2020年3月31日現在
2020	131	2,166,469.82	534	879	2020年12月31日現在
2021	124	2,148,076.58	513	920	2021年12月31日現在
2022	124	2,214,720.03	494	938	2022年12月31日現在

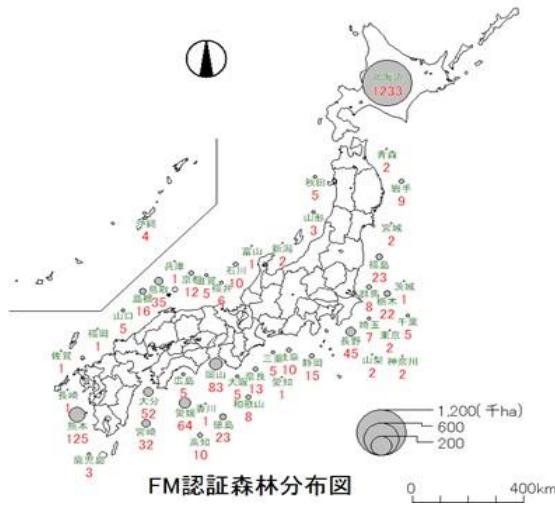
2018年度までの数値は「2018年度事業報告 4.2 2010～2019年度末現在の認証森林面積、COC 企業数の推移」による。

注 2:登録事業体数は、PEFC への SGEC の認証登録事業体数と SGEC の公示認証登録事業体数を一致させていくために新設した。なお、2020 年以降はプロジェクト認証を含む。

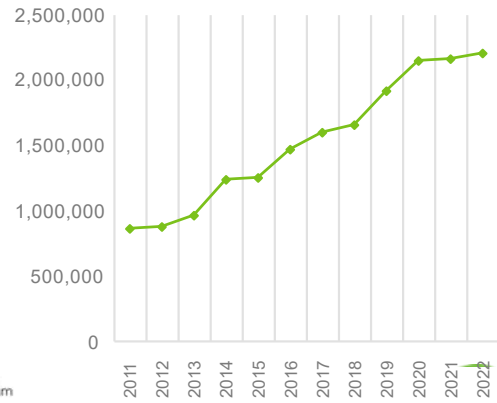
注 3 COC 企業数は、SGEC 認証制度への参加事業体を区分集計し、企業規模の大小は問わず、COC 認証(参加)企業数として計上したものである。

この区分集計値(認証登録事業体の構成企業数)=(独立した認証企業の数)+(統合事業体を構成する独立した企業(統合事業体のうち本店、支店関係にある場合の支店は独立企業とは数えない)の数)であるが、誤差を含む。

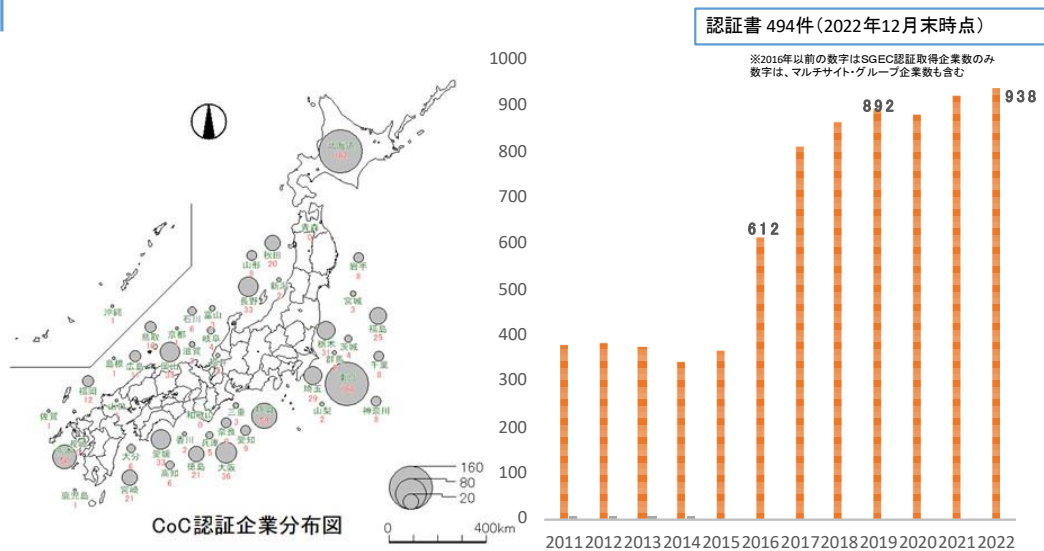
SGEC認証林面積分布と推移



日本国内の認証林：221万^千ha(日本の人工林の約20%超)
2022年12月末時点



SGEC/PEFC-COC認証分布と認証数の推移



[別紙 2]

SGEC/PEFC の CoC 認証を増やすための支援キャンペーン

募集要項

SGEC/PEFC 認証製品を増やすことを目的として、エンドユーザーからの需要を創出し、認証製品の生産から販売に至るまでの COC を拡大してサプライチェーンを構築・強化するため、新たに COC 認証を取得する企業に対し、初期費用への資金助成、技術的支援を行うキャンペーンを実施

1. 支援形態

資金面

- 初年度公示料金(資料1)の実質的免除:最大 18 社まで

技術面

- 取得しようとする企業のスタッフへの、SGEC/PEFC の制度および COC に関する研修
- その他、COC 認証取得に必要な手続き・準備等の支援

2. スケジュール

第一次: 8 月 1 日 : 告知、募集・応募受付開始 説明ウェビナー開催

9 月 30 日 : 応募受付終了

10 月末 : 選定決定

11 月上旬 : 支援企業・団体に通知

第二次: 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日

1 月上旬 : 支援企業・団体に通知

※ COC 認証取得は支援決定から原則 3 か月以内、遅くとも半年以内とする

[別紙3]

SGEC/PEFC 2022 国際フォーラム ～森林と健康～森林認証の役割～

1. 日時： 2022年 10月25日(火) 15:30～17:30

2. 形式： Zoom ウェビナー 日英同時通訳

3. 目的：

森林生態系サービス、特に森林セラピーの効果について、これまでの成果を確認するとともに 海外での取り組みも踏まえ、実際の健康への効果や森林認証の役割について考える機会とする

4. プログラム

15:00-15:05 開始と挨拶

15:05-15:25 基調報告：「森林サービス産業の概要と展望に向けて」
林野庁 山村振興・緑化推進室 課長補佐 藤岡 義生氏

15:25-15:45 基調講演「森林セラピーの健康増進と疾病予防効果 –森林認証は森林セラピーの原動力–」
日本医科大学付属病院 臨床教授・医学博士 李卿氏

15:45-16:05 事例報告：「森林セラピー基地における最近の取組」
佐久市健康づくり推進課 山口 智史氏
耕地林務課 水間 史晃氏

16:05-16:25 特別講演：「PEFC と森林浴：認証取得のメリット」
PEFC イタリア 事務局長 アントニオ・ブルノリ氏

[別紙4]

2022 年森林認証ロゴ集めコンテスト実施結果

目的

森林認証マークである SGEC マークと PEFC マークの認知拡大・身近な製品についていることを知ってもらう機会とし、応募が SDGs の貢献に参加となることを訴え、メーカーへの協力を確保することにより PR 強化・新たな認証品の発掘の機会とする。

キャンペーン期間

2022 年 6 月 10 日(金)から 6 月 30 日(木)

方法

SGEC/PEFC 公式アカウントをフォロー マークのついた商品を撮影、「#はっけん SGEC と PEFC」をつけて応募、応募者の中から抽選で 200 名へ賞品プレゼント

結果

コンテストには 877 件の応募があり、Twitter のコンテスト関連記事の閲覧者数は 300 万人に上りました。今まで気にしていなかったが、このキャンペーンを通じ、日本と世界の森を守るマークがあることを知った、PEFC が森林管理のための世界的認証制度ということを知ったなど多くの反響があり、この結果が、将来的に多くの人々による認証製品の選択的購入につながることを期待される。

なお、昨年実施後の反省点(応募のハードルの高さ、当選人数が少ない為、一人で多く応募投稿しなく てはならず途中離脱者多数と言った不公平さなど)を踏まえ、今年度は写真1枚投稿で応募完了した結果、リーチの確保に成功。環境月間における実施は関心を引きつける上で効果的であった。また、メーカーの協力による拡散(RT)に成功。

	2022 年	2021 年
応募写真枚数	877	422
RT 数	698	401
リーチ数	302 万回	404 万回

[別紙5]

第4回「令和」記念

We Love Forest の森 植樹祭

日時 2022年10月16日(土) 9:30～

場所 東京都 あきる野市 SGEC 認証林

プログラム

開会の言葉: SGEC/PEFC ジャパン 専務理事 梶谷 辰哉

来賓祝辞: 林野庁 河野 孝典計画課課長補佐

東京都農林水産振興財団 高木 章雄花粉対策室長

植樹方法及び鹿食害防止保護カバー設置についての説明: 東京都森林組合

○10時25分～11時35分 移動

○10時35分～11時35分 植樹活動 少花粉スギ苗の植栽等。

○10時35分～11時45分 移動

○10時45分～11時50分 きのこと狩りについての説明(青梅きのこガーデン
須崎様)

○11時50分～14時 ～ きのこと狩り及び昼食～

報告事項1

2022年度事業の実施概要

1

SGEC/PEFCジャパン

佐々木 会長

緑の循環認証会議の活動全般を統括

梶谷 専務理事・事務局長

会長を補佐し、以下の緑の循環認証会議の活動を実施

2022年度事業の概要

コロナウィルスの感染が中々収まらない中、基本的にはオンラインを中心とした活動を行わざるを得ない状況下ではあったが、感染状況を踏まえ現地に赴く対応も可能な限り行った。

1. 会議

総会 2022年6月28日 対面方式及び書面による議決権の行使(2021年度決算等)

理事会/評議委員会 2022年6月14日 オンラインと対面の併用(2021年度決算等)

2023年3月24日 オンラインと対面の併用(2023年度予算等)

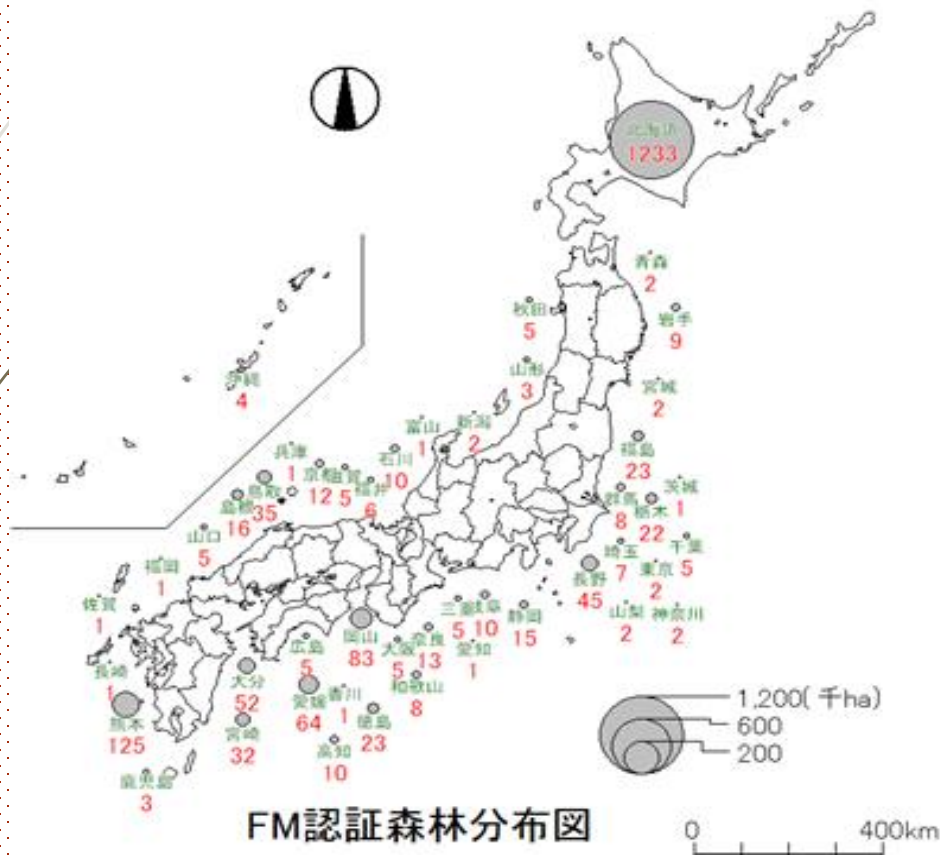
2.規格改正関連

- ・SGEC2021年版規格への円滑な移行に向けた説明会(2022.7.13)等の実施
- ・PEFC GD 2001:2020 いわゆるCOC使用ガイドの公表をうけ、SGECガイド文書5-1「森林および森林外樹木産品及び関連規格の使用ガイド」を策定、HP上に掲載
- ・PEFC ST 1004:202x「PEFCにより承認された森林管規格の認証業務を実行する証機関に関する要求事項」のパブコメにおいて意見の提出。認定機関、認証機関に連絡等

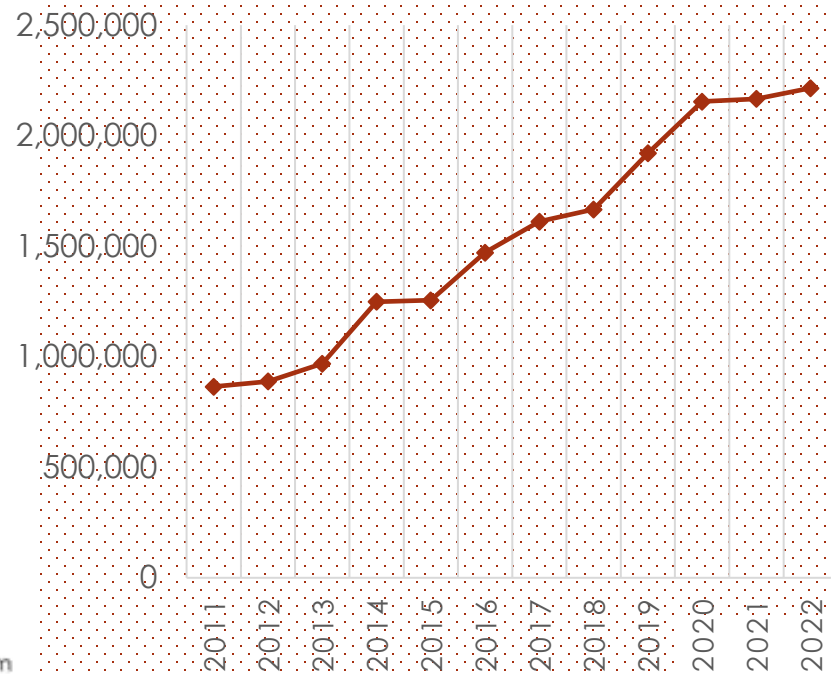
3. 認証関係事務の実施

4

SGEC認証林面積分布と推移



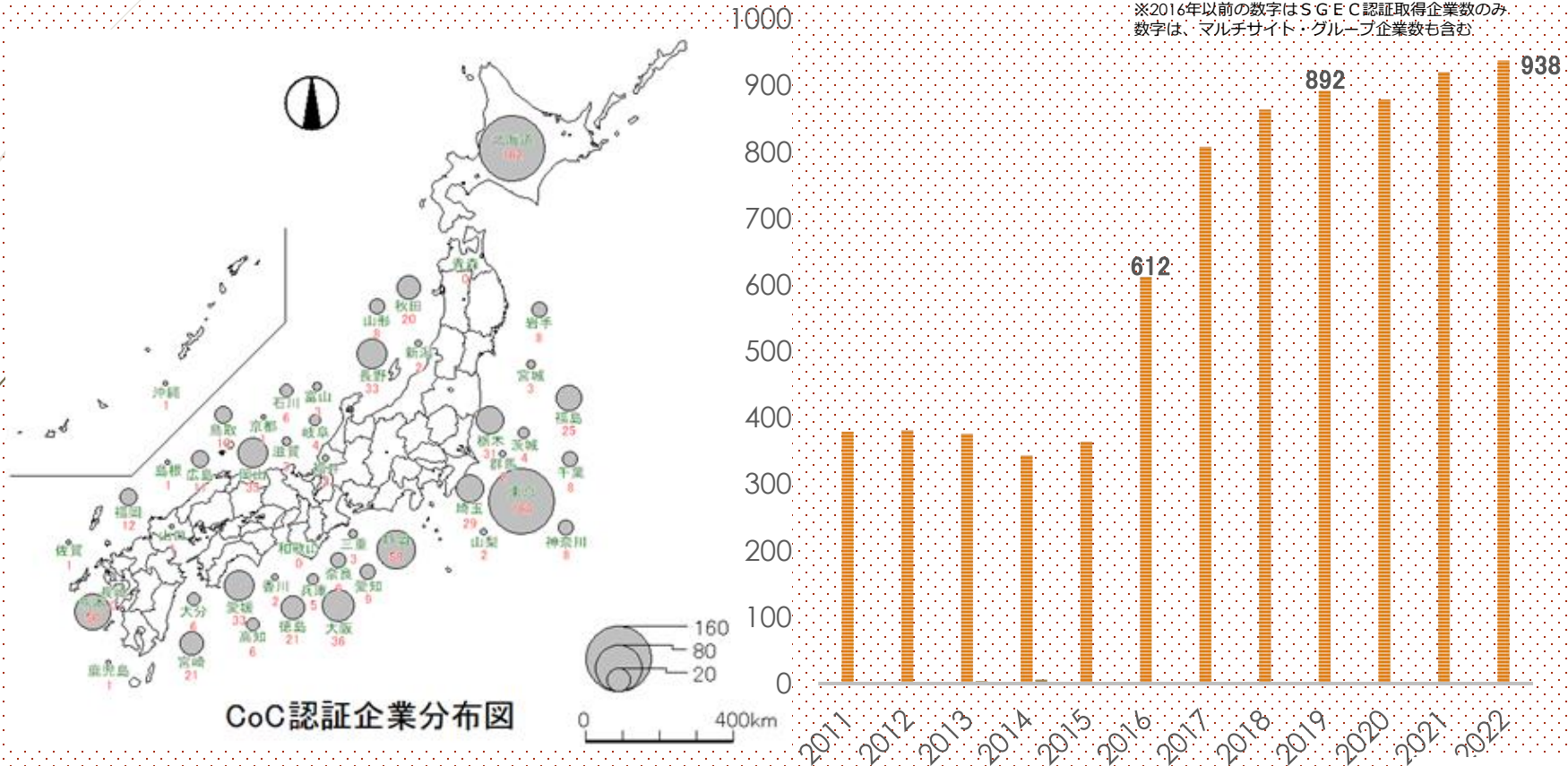
日本国内の認証林：221万ha(日本の人工林の約20%超)
2022年12月末時点



SGEC/PEFC-COC認証分布と認証数の推移

認証書 494件 (2022年12月末時点)

※2016年以前の数字はSGEC認証取得企業数のみ
数字は、マルチサイト・グループ企業数も含む



マルチサイト生産者グループの加入企業数を含めると938企業、2022年の新規は37件



4. 認証機関審査員研修の実施

2022年12月12-15日

5. 認証取得拡大に向けた企業等への働きかけ

- ・計86の企業等にアプローチ、SGEC/PEFC認証について説明、意見交換
- ・万博協会(2022.10.21)及び関連企業、団体との意見交換
- ・「日本マーケティングプロジェクト」運営委員会(PEFC本部、オーストラリアNGB SGEC/PEFCジャパンで構成)に参加(2022年8、11月)

SGEC/PEFC認証推進チャンピオン企業の選定

SGEC/PEFC-CoC認証増加 支援キャンペーンの実施
(計13企業から応募、採択)

SGEC/PEFC の CoC 認証を増やすための支援キャンペーン 募集要項

SGEC/PEFC 認証製品を増やすことを目的として、エンドユーザーからの需要を創出し、認証製品の生産から販売に至るまでの COC を拡大してサプライチェーンを構築・強化するため、新たに COC 認証を取得する企業に対し、初期費用への資金助成、技術的支援を行うキャンペーンを実施

1. 支援

資金面

- 初年度公示料金(資料1)の実質的免除:最大 18 件まで

技術面

- 取得しようとする企業のスタッフへの、SGEC/PEFC の制度および COC に関する研修
- その他、COC 認証取得に必要な手続き・準備等の支援

2. スケジュール

第一次: 8 月 1 日 ~ 9 月 30 日

11 月上旬: 支援企業・団体に通知

第二次: 10 月 1 日 ~ 12 月 31 日

1 月上旬: 支援企業・団体に通知

※ COC 認証取得は支援決定から原則 3 か月以内、遅くとも半年以内とする

ユニチャームとの森林認証共同推進 (2022.11.9)



覚書締結



記念の盾



プロモーション活動の実施状況

9

(1) SNSの活用

・ Facebookページ



・ インスタグラム



・ Twitter

https://twitter.com/SGEC_PEFC



SGEC/PEFCニュースレターの全面的リニューアル これまでに比べ開封率の大幅な増加を実現(数28%)



Vol. 57

ニュースレター

SGEC/PEFC20周年を迎えて

SGEC/PEFCは今年20周年を迎えます。SGECは2003年に我が国独自の森林認証規格として創設され、それと時を同じくしてこの年にPEFCの日本での普及活動も開始されました。この間、皆様方のご支援のおかげで森林認証面積は200万haを超え、COC認証も約500件を数えるなど順調に発展してきました。この20年という節目を契機としてこれまでの反省点と皆様方からのご意見を踏まえ、更なる発展を目指し活動の強化に取り組んで参りますので今後ともよろしくごお願い申し上げます。なお、ニュースレターにつきましても、より見やすく、わかりやすい情報発信をめざし本号から全面的にリニューアルしました。引き続き迅速かつ適切な情報の発信に努めて参ります。

SGEC/PEFCジャパン
事務局長 梶谷辰哉

お知らせニュース



日本最大級 認証率88.48%！ 南富良野町・プロジェクト認証

昨年2022年4月、道の駅南ふらのの横にSGECプロジェクト認証を取得した複合型施設がオープン。2300人の町に1300人ほどが訪れる日もあるという賑わいを見せているそうです。

[詳しくはこちら»](#)



COC規格の解説書が発行

「SGEC ガイド文書 4-1」と「PEFC GD 2001：2022」森林および森林外樹木産品のCOC及び関連規格の使用ガイドCOC規格の解説書が発行されました。

[詳しくはこちら»](#)

WOOD COLLECTION 2023

WOODコレクション（モクコレ）

2023・SGEC認証取得企業が多数出展！

新型コロナ感染も落ち着き、3年ぶりにWOODコレクション（モクコレ）2023が1月31日から2日間、東京ビッグサイトで開催されました。

[詳しくはこちら»](#)

(2) フォーラム・セミナー等の開催、参加

2022.4 SGEC/PEFC森林認証セミナーin北海道の開催

2022.6 2022年度建築再生展に出展

2022.8 高知県仁淀川認証取得セミナーに出席

2022.11 鹿児島県、奈良県吉野町、宮崎県の認証セミナーに出席

2022.12 静岡県小山町セミナーに出席

このほか、2023年度に入り、鳥取県、秋田県大館市(オンライン)、長野県、北海道十勝(オンライン)等のセミナーでプレゼンテーションを実施

(3) ブランドみらいミニセミナーの開催(オンライン)

12

SGEC/PEFCジャパン ブランドみらい☆ミニセミナー シリーズ 2022

第3弾

～ SDGs X 環境マーク ～

2022年8月24日(水) 15:00～16:20 ZOOM 参加無料

日時: 2022年8月24日(水)15:00～16:20
対象: 環境訴求に関心のある、エンドユーザー、ブランドオーナー、
量販店、コンビニ、ホームセンターなど
形式: ZOOMウェビナー
参加費: 無料

SGEC/PEFCジャパン ブランドみらい☆ミニセミナー シリーズ 2022

第4弾

～SDGs X 認証材はどうなる?～

2022年12月7日(水) 15:00～16:20 ZOOM 参加無料

概要: SDGsが浸透し、持続可能な社会づくりにおいて木材・紙製品の生産に認証材はもはや“常識”となりつつあります。

しかしながら国際紛争問題等で認証原材料の需給がひっ迫し、入手が困難となりつつあるという情報もあるなど、認証材市場にも影響が出始めております。

ミニセミナー第4弾では、認証材を扱う企業にとり最重要課題である「原材料の安定確保」の観点から、国際森林認証制度 PEFC の各地域における状況と、すでに PEFC 認証取得されている企業、未認証企業のご参加をお待ちしております。

日時: 2022年12月7日(水) 15:00～16:20
対象: 認証材取り扱い企業、PEFC
形式: ZOOM ウェビナー・通訳付
参加費: 無料
プログラム:



SGEC/PEFCジャパン ブランドみらい☆ミニセミナー シリーズ 2022

第1弾

～ SDGs X 森林認証の基礎知識～

2022年5月25日(水) 15:00～16:20 ZOOM 参加無料

概要: 世界的な潮流も受け、企業やブランドには更に、環境に配慮した素材での製品づくり・包材の使用、が求められる時代となっています。

「ミニセミ」第1弾は、森林認証の基礎知識、併せて PEFC の最新情報、合法性証明との違い、CoC 認証を取得するには、のご案内などもさせていただきます。

森林認証制度をまだあまり知らない、改めて知りたい方、実際に紙や木材の調達部

SGEC/PEFCジャパン ブランドみらい☆ミニセミナー シリーズ 2022

第2弾

～ SDGs X 減プラ ～

2022年6月15日(水) 15:00～16:20 ZOOM 参加無料

概要: SDGs のコンセプトが広まる中、プラスチックごみが生態系にも影響するという問題から、世界的にプラスチックごみ問題に対する関心、取り組みが急速に広まりつつあります。本年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」について、及び海洋プラスチックごみ問題への取り組み現状などについてのご報告を頂くと共に、他国での事例も踏まえ、自社製品・包材のあり方について検討されている企業の皆様に、ひとつのヒントにもなってもらえるためのミニセミナーを開催致します。

日時: 2022年6月15日(水) 15:00～16:20

参加対象: エンドユーザー(ブランドオーナー、コンビニ、量販店など)のSDGs・サステナビリティ担当、包材成型メーカーの環境対応担当、企業の調達や営業の方、国際森林認証制度SGEC/PEFCに関心のある方

形式: ZOOM ウェビナー



(4) 森林認証国際フォーラムの開催

13

SGEC/PEFC 2022国際フォーラム ～森林と健康～森林認証の役割～

目的:森林のセラピー効果について再確認するとともに
こうした効果を高める上での森林認証の役割を考
える

日時:2022年10月25日(水)15:00～

森林認証国際フォーラム2022 後援:林野庁

10月25日(火)
15:00~16:45(日本時間)
Zoom ウェビナー
日英同時通訳付き
定員500名
参加費無料

LIVE WEBINAR
Japanese 日本語
English 英語

講演
森林セラピーの第一人者
教授・医学博士 李卿氏
森林セラピーの健康増進と疾病予防効果
ー森林認証は森林セラピーの原動力ー

申込QRコード

プロフィール:日本医科大学付属病院 臨床教授、医師、医学博士、森
林医学研究会代表世話人、国際自然・森林医学会副会長・事務局長、
NPO法人森林セラピーソサエティ理事

基調報告
林野庁
森林整備部 森林利用課 山村振興・緑化推進室
課長補佐 藤岡 義生氏
「森林サービス産業の概要と展望に向けて」

特別報告
PEFC イタリア
事務局長
博士 アントニオ・ブルノリ氏
「PEFCと森林浴:認証取得のメリット」

事例報告
長野県佐久市
健康づくり推進課 山口 智史氏
耕地林務課 水間 史晃氏
「森林セラピー基地における最近の取組」

問合せ:一般社団法人 緑の循環認証会議 (SGEC/PEFCジャパン)
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル4階
電話:03-6273-3358 メール:support@sgec-pefc.jp 担当:チェン



(5) 森林認証ロゴ集めコンテスト」の実施（2022.6.10～6.30）

SGEC/PEFCマークキャンペーン
～日本と世界の森を守るマーク～

合計 **200** 名様に当たる！

キャンペーン期間
2022年6月10日（金）～6月30日（木）

Amazonギフト券
2000円分
×140名様

おたのしみ！
環境製品セット
×60名様

Twitterで
「#はっけんSGECとPEFC」をつけて
SGECマークまたはPEFCマークのついた商品の写真を投稿してね！

応募詳細QRコード >>>

主催：SGEC/PEFCジャパン・森林認証促進協議会
【問合せ】SGEC/PEFCジャパン キャンペーン事務局 担当：チェン sgecpefcj.cp@gmail.com

目的

森林認証マークであるSGECマークとPEFCマークの認知拡大のため、身近な製品についていることを知ってもらう機会とし、メーカーへの協力を確保することによりPR強化・新たな認証品の発掘の機会とする。

キャンペーン期間

2022年6月10日(金)から6月30日(木)

方法

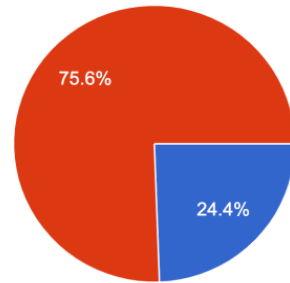
SGEC/PEFC公式アカウントをフォロー マークのついた商品を撮影、「#はっけんSGECとPEFC」をつけて応募、応募者の中から抽選で200名へ賞品プレゼント

結果

	2022年	2021年
応募写真枚数	877	422
RT数	698	401
リーチ数	302万回	404万回

マーク認知度に関するアンケート調査結果

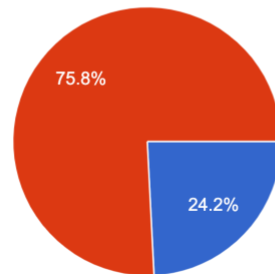
PEFCマークを知っていますか？
1,670 件の回答



● はい
● いいえ



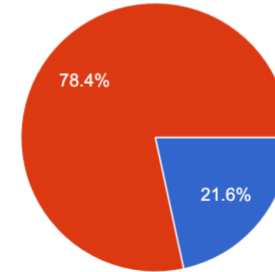
このマークをみたことがありますか？
1,686 件の回答



● はい
● いいえ



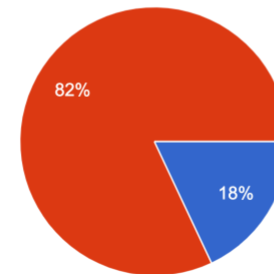
SGECマークを知っていますか？
1,680 件の回答



● はい
● いいえ



このマークをみたことがありますか？
1,678 件の回答



● はい
● いいえ



(6) We love forest の森 2022 植樹祭

日時： 2022年10月15日(土) 於:青梅市 SGEC認証林
プログラム： 少花粉スギの植林とキノコ狩り



6. 森林認証促進協議会の開催（2022年10月5日、2023年3月8日）

7. PEFC総会（2022年11月14～18日）オンライン開催

主な事項

PEFC今後5年間の活動戦略に関する意見交換

2024年からの会費の新計算方式の提案等、

2023年メンバーズ会議のカナダ・バンクバー開催の決定報告等

報告事項2

SGEC ガイド文書 4-1 森林および森林外樹木製品の COC および関連 規格の使用ガイドの策定について

2022.10.26 に公表された PEFC COC 使用ガイド「森林および森林外樹木製品及び関連規格の使用ガイド」の策定を踏まえ、同ガイドを基に SGEC ガイド文書 4-1 「森林および森林外樹木製品の COC および関連 規格の使用ガイドの策定」を策定し、2023 年 1 月 10 日に SGEC/PEFC ジャパンのホームページに掲載。

このガイド文書は SGEC 規準文書4 「SGEC 森林及び森林外樹木製品の COC—要求事項」、「SGEC 規準文書6 「SGEC 商標使用規則—要求事項」、SGEC 規準文書 5-2 SGEC-COC 認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」のそれぞれの規格について解説および解釈を提供。

報告事項3

PEFC ST 1004:202x 「PEFC に承認された森林管理認証規格に基づく認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」の制定状況について

現在、PEFC ST 1004:202x 「PEFC に承認された森林管理規格の認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」については、PEFC による公開協議を終え、最終案の策定中の段階にある。

従来からの懸案であった、認証機関に求められる ISO 規定を ISO17021 一本に（現在の ST は 17021、17065 のどちらでもよい）することについては、ワーキンググループでの議論の結果、現行と同じくどちらかということでの案が示されている。

4. General requirements

4.1.1 The regional, national, or sub-national forest management system shall define which one of the two following standards: **ISO/IEC 17021-1 or ISO/IEC 17065**, certification bodies in the respective geographical area shall implement.

今後、同 ST を基に SGEC 規準文書 5-1「SGEC 森林管理認証規格に基づく認証業務を実行する認証機関に関する要求事項」の改正を行う必要があり、そのための手続き、規格案の策定など準備を進めることとする。

報告事項4

東京都グリーン購入ガイドの改定について

東京都環境局資源循環推進部からの情報(2023.3.6)

東京都ではグリーン購入ガイドの水準2(紙の関連)の下記部分を4月から改定する予定

(現行)

【水準2】(配慮事項)

「バージンパルプが原料として使用される場合にあっては、FSC 認証・PEFC (SGEC を含む) 認証を受けたもの又は間伐材等パルプであること。ただし、いずれかの認証制度において、認証対象から排除する措置を受けているものがサプライチェーンに関わる場合を除く。」

(改訂後)(現行の但し書は削除)

【水準2】(配慮事項)

「バージンパルプが原料として使用される場合にあっては、FSC 認証・PEFC (SGEC を含む) 認証を受けたもの又は間伐材等パルプであるなど、サプライチェーンにおいて生物多様性の損失を引き起こさない持続可能な生産が為されたものであることが十分に確認されていること。」

2023年 4月5日 (水)

午後 13:30~15:30 (受付開始13時)

会場

全国都市会館 東京都千代田区平河町2-4-2

参加費

無料 定員になり次第締め切らせて頂きます

参加対象

国際森林認証制度SGEC/PEFC認証取得者、関心のある方ならどなたでも



1999年に創設された、世界最大の森林認証制度PEFC。その本部事務局長/CEOとして昨年就任したマイケル・バーガーが、初来日致します。この機会に、バーガーによるPEFCの国際的な今後の発展についてお聞き頂くと共に、林政ジャーナリストが“森林認証についての本音トーク”で鋭く切り込みます。
※通訳が入ります

参加申込フォーム

<https://onl.bz/NKjMKMF>



プログラム

1. ご挨拶とSGECの概要 SGEC/PEFCジャパン

事務局長/梶谷 辰哉

2. 【基調報告】「PEFCの現状と今後の展開」

PEFC事務局長/CEO マイケル・バーガー

3. トークセッション

PEFCは本当に
持続可能な社会づくりに貢献できるのか!?
その可能性について聞く



PEFC事務局長/CEO
マイケル・バーガー氏



日本林政ジャーナリストの会
会長 滑志田 隆氏

4. Q&A PEFC CEOに直接聞いてみたいことがあるば